

花のある空間

大高 令子

初春の花遊び



今月の花材

ムスカリ / 苔

その他……透明なガラス器

ヒヤシンス、クロッカス、チューリップなど、年が明けるとフラワーショップにはさまざまな根付きの球根が並びます。

今月は、小さく可愛らしいムスカリの水耕栽培をしつらえてみましょう。茎や葉が次々と伸びていく生命力の逞しい様は、新年の花のある空間づくりにぴったりです。

まず、水の量がコントロールしやすいように、中がよく見えるガラスの器を用意します。その器に、ムスカリを苔で支えながらひとつずつ順番に植え込んでいきます。

ムスカリは、根を傷めないように優しく扱きましょう。

さらに、苔をムスカリの球根が安定するまで詰め、根の部分が浸かる程度に水を入れたら完成です。

飾る場所は、自然光がたっぷり入る明るい場所が向いています。暖かな部屋では、茎が伸びる前に早めに花が満開となり、気温の低い場所では、茎がゆっくり伸びてから花が咲いていきます。

どちらの場合も、手間がかからず、水やりだけで世話ができるので、切り花に比べると長い期間楽しめます。

また青々とした苔が、新年のきりりとした空気感に相応しい飾りとなることでしょう。

同様の方法で、いろいろな球根を手軽にお楽しみください。



おおたか れいこ <https://rencontrer.jp/>

花のアトリエ「ランコントレ」主宰。フランスで培ったフローラルワークを手がける。